

# JR 穂積駅周辺「一方通行化交通社会実験」の結果概要

## 1. 実験の目的及び内容

一方通行化社会実験期間中の規制区間および迂回路の交通量等を把握し、駅周辺の交通環境の改善につなげる。

## 2. 実験期間

1月20日(月)～1月24日(金)、1月27日(月)～1月31日(金)の10日間  
(各日 午前7:00～8:30)



実験中の様子(規制区間)



実験中の様子(迂回路1)



## 3. 実験期間中の調査概要

### ①調査内容

| 調査内容                              | 調査箇所                     | 調査対象                                       |
|-----------------------------------|--------------------------|--|
| a 交通量調査                           | 規制区間<br>迂回路1・2<br>駅北側1・2 | 通行車両                                       |
| b 速度調査                            | 規制区間                     | 通行車両                                       |
| c アンケート調査(定性的調査)<br>配布354人 回答135人 | 迂回路1・2<br>駅北側1・2         | 通行人(配布300人 回答114人)<br>沿線住人(配布54人 回答21人)    |
| d その他、地域の方々等の意見(定性的調査)            | 迂回路1・2<br>駅北側1・2         | 地域の方々<br>(ワイワイ会議、自治会ワークショップ、沿線住人含む)<br>第3者 |

### ②調査結果

#### a 交通量調査 及び b 速度調査の結果概要(主な定量的傾向)

| 調査箇所                     | 調査結果概要(どのように変化したか) |   |
|--------------------------|--------------------|---|
| 規制区間<br>(JA ぎふ穂積支店前の通り)  | 交通量                | 通常時より <b>100台/時間 減少</b> (概ね半減)<br>東向き交通量は通常時より <b>30台/時間 増加</b> |
|                          | 速度                 | 通常時より約 <b>3-4km/時間 上昇</b>                                       |
| 迂回路1<br>(穂積郵便局前～風来坊前の通り) | 交通量                | 西向き交通量は通常時より <b>50台/時間 増加</b><br>東向き交通量は通常時より <b>20台/時間 増加</b>  |
|                          | 滞留台数               | 西向き滞留台数は通常時より <b>7-8台/回 増加</b><br>(10分間ずつ計測した内の、時間ごとの最高滞留台数の平均) |
| 迂回路2<br>(市役所南側の通り)       | 交通量                | ほぼ変化なし  |
| 駅北側1                     | 交通量                | ほぼ変化なし  |
| 駅北側2                     | 交通量                | ほぼ変化なし  |

#### c アンケート調査の結果概要(主な定性的傾向)

- ・駅利用者・居住者ともに「一方通行化を実施して通行しやすくなった」との回答割合が高い傾向(意見数 37/58)
  - ・「JA ぎふ穂積支店前の通りにおいて望ましい対策」は「一方通行化」が最も多かった。(意見数 39/58) 次点:「信号時間の調整(14/58)」、「現状のままでよい(6/58)」
  - ・他の道路の通行のしやすさについては、穂積郵便局前の道路が混雑したとの意見が多い。
- ※58人…アンケート回答者114人の内、実験期間中に規制区間を通行した人の人数

#### d その他、地域の方々等の意見(主な定性的傾向)

- ・沿線住民や駐車場利用者などが遠回りして大変だった。

## 4. 調査結果の整理

- ・一方通行化規制の満足度は高かったが、以下の3点の課題をあげることができる
- 課題1: 迂回路1の混雑(渋滞)
- 課題2: 規制区間における速度上昇
- 課題3: 規制区間沿線住人や駐車場利用者に対する啓発と理解